

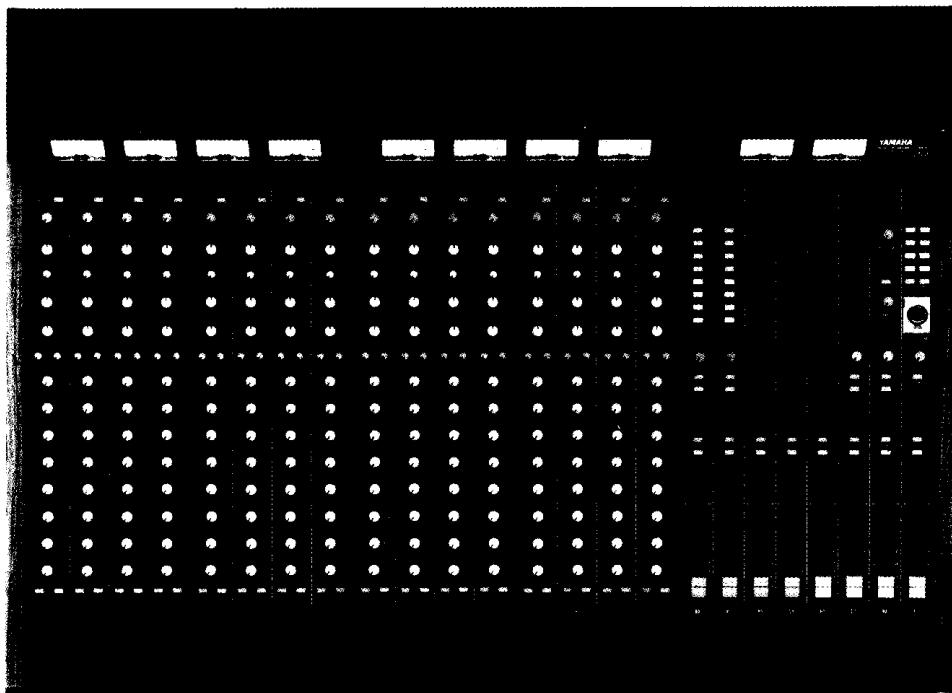
YAMAHA

MONITOR MIXING CONSOLE

MC1608M

MC2408M

取扱説明書



MC1608M

このたびは、YAMAHAモニターミキシングコンソールMC1608M/MC2408Mをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

MC1608M/MC2408Mは、薄型・軽量・高信頼性を基本コンセプトに設計され高性能・多機能でありながら、可搬性にも富んだミキサーです。

さらに、MC1608M/MC2408Mは非常にフレキシブルです。モニター用ミキサーとしてだけでなく、PAやレコーディングにもお使いいただけるというのも大きな特長です。

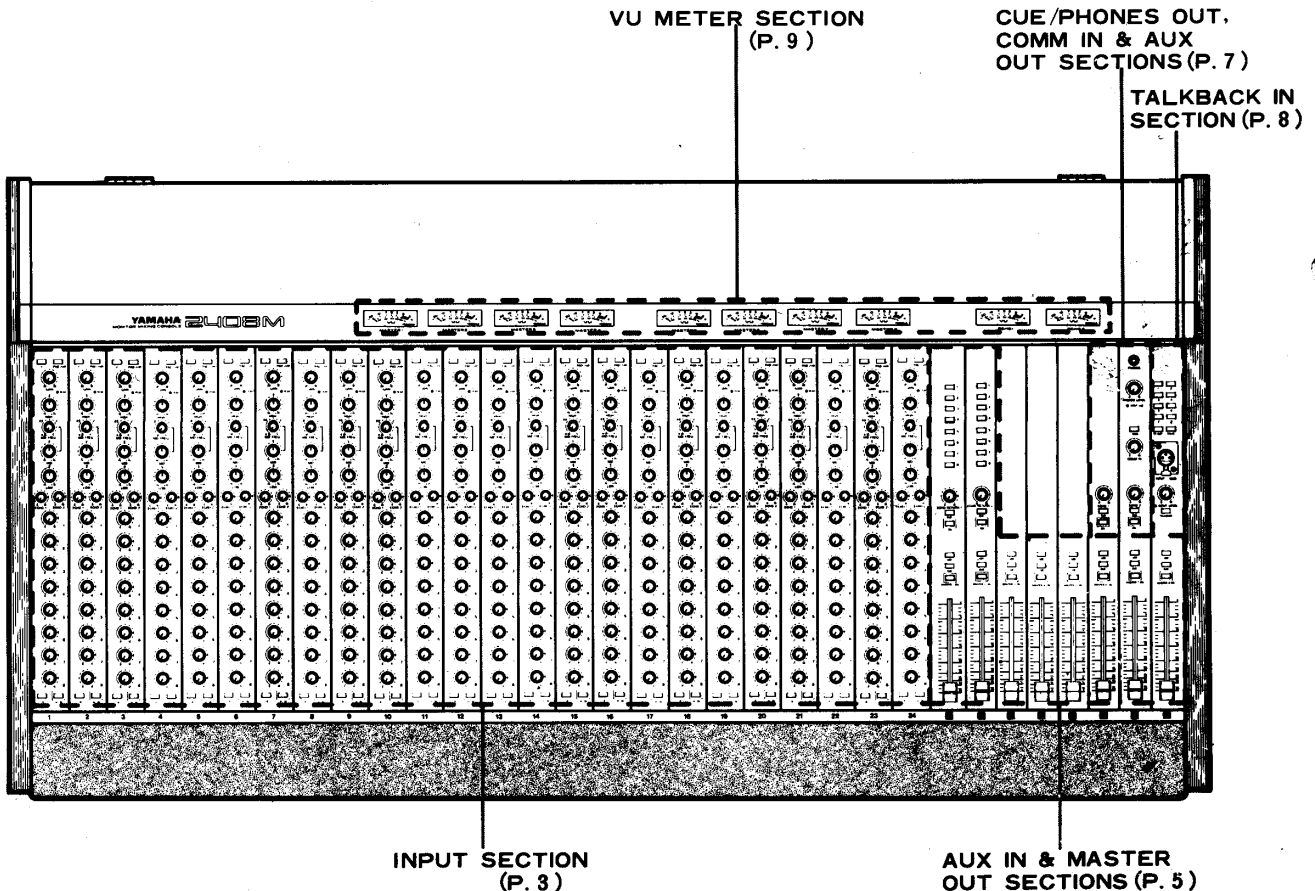
目次

ご使用になる前に.....	1
仕様.....	2
コントロールパネル	
INPUT SECTION	3
AUX IN & MASTER OUT SECTIONS	5
CUE/PHONES OUT, COMM IN & AUX OUT SECTIONS	7
TALKBACK IN SECTION	8
VU METER SECTION	9
リアパネル.....	9
接続例.....	11
寸法図.....	11
ブロックダイアグラム.....	12
入・出力仕様.....	13
レベルダイアグラム.....	14
サービスについて.....	15

ご使用になる前に

- 本機の電源電圧は国内仕様AC100V(±10%)、50/60Hzです。
- 電源投入時には、スピーカーなどの損傷を避けるため、各マスターボリュームを絞ってください。
- 本機のXLBコネクターはDIN規格によって配線されていて、1番シールド・アース、2番ホット、3番コールドの接続型式です。
- 本機を設置する場合、湿気・結露・ほこりに充分注意して、安定した場所に設置してください。
また、発熱量の大きな機器やハム・ノイズの原因となる機器の近くでのご使用は避けてください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

※本書では、コントロールパネルを次のように分類して、説明しております。



仕様

周波数特性 20Hz~20kHz $0 \pm \frac{1}{3}$ dB (@600Ω、+4dB)

全高調波歪率 0.05%以下 (20Hz~20kHz @600Ω、+14dB)

ノイズレベル*

入力換算ノイズ	-128dB	($R_s=150\Omega$)
残留ノイズ	-95dB	(バランス出力)
MASTER OUT	-70dB	MASTER Fader→nominal** All Input Volumes→minimum
	-64dB	MASTER Fader→nominal** One Input Volume→nominal**
AUX OUT	-67dB	AUX Output Volume→nominal** All AUX Input Volumes→minimum
	-62dB	AUX Output Volume→nominal** One AUX Input Volume→nominal**

最大電圧利得

CH INPUT→MASTER OUT	76dB
CH INPUT→AUX OUT	82dB
AUX IN→MASTER OUT	12dB
TALKBACK INPUT→MASTER OUT	66dB
MASTER SUB IN→MASTER OUT	6dB
AUX SUB IN→AUX OUT	6dB
CUE SUB IN→CUE OUT	6dB

イコライザー特性

LOW	± 15 dB (100Hz シェルビング)
MID	± 15 dB (350Hz~5kHz ピーキング)
HIGH	± 15 dB (10kHz シェルビング)

クロストーク (1 kHz)

MIX BUS間	-60dB以下
INPUT CH間	-60dB以下

VUメーター MASTER 1~8、AUX 1、2
(0 VU = 4 dB)

ピークインジケーター

INPUT (赤)	クリッピングの手前 3 dBで点灯
VU (赤)	0 VUより 8 dB上で点灯

電源 (使用電圧範囲) AC100V ($\pm 10\%$)、50/60Hz

消費電力 70W (MC1608M/MC2408M)

寸法 (W×H×D)

MC1608M	919mm×185.5mm×654.3mm
MC2408M	1232mm×185.5mm×654.3mm

重量

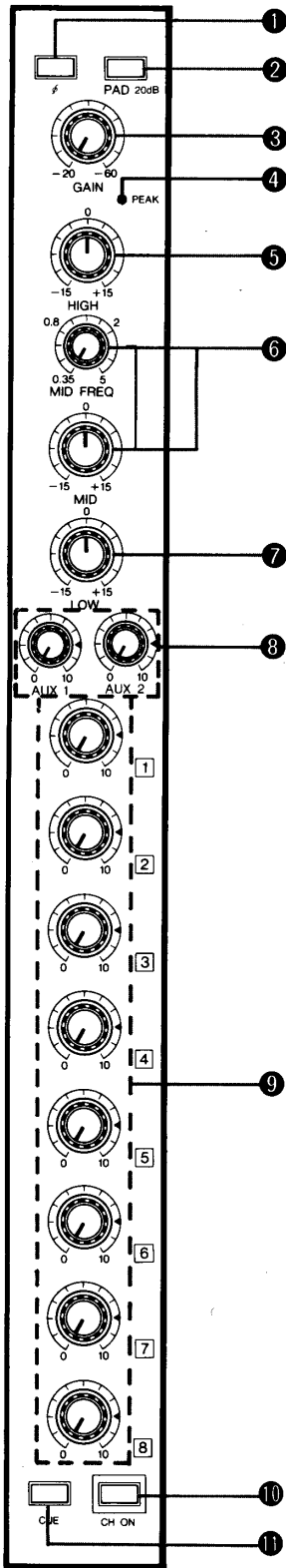
MC1608M	26kg
MC2408M	33kg

* @12.7kHz、-6dB/oct.のLPFで補正。

** maximumより6dB手前。

● 0dB=0.775Vr.m.s.

● 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



① φ (フェイズ切換スイッチ)

位相切り換えスイッチです。ノーマル「」ではINPUTコネクターの2番ピンがホット、3番ピンがコールドで、入力信号と出力信号は同相です。マイクロホンやコネクターの接続型またはセッティング状況などから、逆相の信号を必要とする場合には、リバース「」にして、2番ピンをコールド、3番ピンをホットにします。

② PAD (INPUTアッテネーター)

減衰量20dBのパッドスイッチです。

INPUT信号の入力レベルが高すぎて、③のGAINコントロールで減衰しきれない場合には、このスイッチをON「」にします。

③ GAINコントロール

入力信号レベルに応じ、最適なレベルで入力できるよう、このつまみで感度を調整します。

(④のPEAKインジケータが時々点灯する位置が良好です。)減衰不足の場合は、②のPADスイッチをON「」にします。

GAIN	INPUT SOURCE
-60 ~ -50	ローレベルマイクロホン(ダイナミック型)
-35	ハイレベルマイクロホン(コンデンサー型) / 電気・電子楽器
-20	ローレベルライン(一般オーディオ機器) / 電気・電子楽器

なお、本機はトランスレスヘッドアンプ方式を採用しています。

④ PEAKインジケータ

チャンネルボリューム前のピークレベルを検出します。

クリッピングの手前3dBで赤色点灯し、クリッピングレベルに近づいたことを警告します。

⑤ HIGHイコライザー

高域の音質をコントロールします。

10kHzを基準周波数として最大15dBの範囲でブーストまたはカットすることができ、つまみ位置「0」でフラットな特性となります。

⑥ MID FREQコントロール / MIDイコライザー

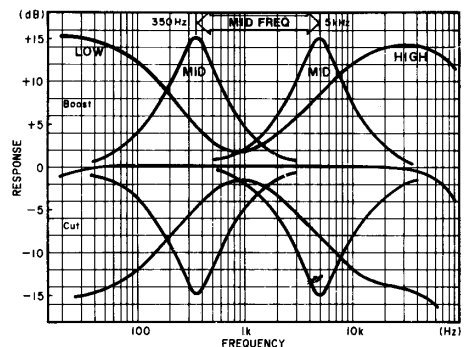
中域の音質をコントロールします。

MID FREQコントロールで、イコライジングする周波数の中心を350Hz ~ 5kHzの範囲内で決め、MIDイコライザーで選んだ周波数を中心にして最大15dBの範囲でブーストまたはカットすることができます。MIDイコライザーのつまみ位置「0」でフラットな特性となります。

⑦ LOWイコライザー

低域の音質をコントロールします。

100Hzを基準周波数として最大15dBの範囲でブーストまたはカットすることができ、つまみ位置「0」でフラットな特性となります。



⑧ AUX 1・2 コントロール

イコライザー後の信号をレベルコントロールして、AUXミックスバスへ送り出します。

2系統のAUXラインは、9系統、10系統のモニターラインを必要とする場合など、補助的にあらゆる使い方ができます。

※本機のAUX信号の取り出し位置は、内部基板のジャンパー配線を変えることにより、チャンネルボリューム前またはチャンネルボリューム後に変更可能です。(下図参照)

AUX信号の取り出し位置を変更される場合は、最寄りのサービスセンター (巻末のページ参照)にご相談ください。

⑨ チャンネルボリューム

各ツマミで、それぞれのマスターバスへの送り出しレベルを調整します。各ツマミがそれぞれのマスターバスおよびMASTER OUT端子と対応しています。

リアパネルのINPUT端子から入力した楽器の音を、8人の演奏者が要求する様々なミキシングの状態にして送り出すことができます。

ツマミ位置8"◀"で規定出力レベルが得られます。

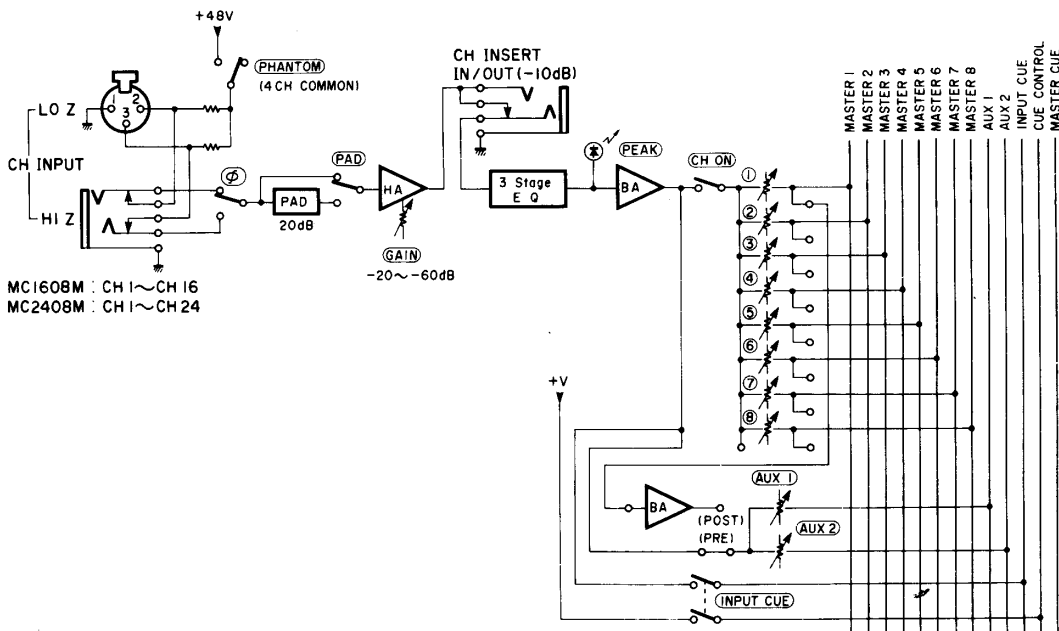
⑩ CH ONスイッチ

スイッチをON"■"にすると、そのチャンネルが作動状態になります。


OFF"□"にすると、信号はチャンネルボリュームの前 (INSERT IN/OUT後) で遮断されるため、あらかじめセッティングしたレベルをくずすことなく、不必要な楽器の音を完全にミュートできます。

⑪ INPUT CUEスイッチ


スイッチをON"■"にすることにより、マスター側のCUEスイッチのON/OFFに関係なく、各INPUTの楽器音の入力状態をヘッドホンまたはオペレーター用のモニタースピーカーで確認できます。このスイッチはマスター側のCUEスイッチに優先するため、このスイッチをON"■"にしたときには、マスター部のINPUT CUEインジケーターが点灯すると共に、MASTER CUEの信号が遮断されてCH CUE信号のみとなるように設計されています。なお、CH ONスイッチのON/OFFに関係なく使用できます。




① AUX INアサインスイッチ

AUX IN端子より入力したAUX信号の送り出しバスを決めます。スイッチをON「」にしたバスへ信号を送ります。

② AUX INコントロール

AUX IN端子から入力したAUX信号の入カレベルを調整します。
ツマミ位置 8「」で規定出力レベルが得られます。



③ AUX IN CUEスイッチ

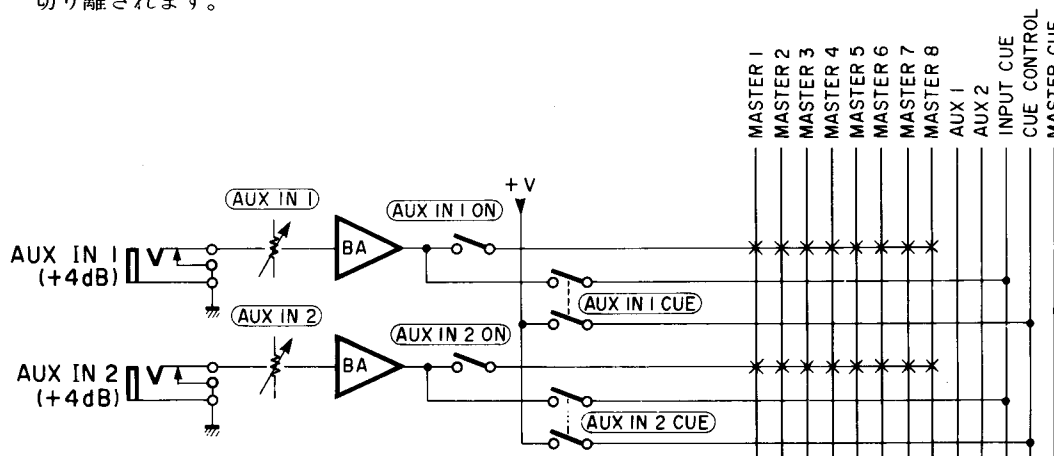
スイッチをON「」にすることにより、マスター側のCUEスイッチのON/OFFに関係なく、AUX IN信号の入力状態をヘッドホンまたはオペレーター用のモニタースピーカーで確認できます。

このスイッチもインプットチャンネルのCUEスイッチと同様にマスター側のCUEスイッチに優先するため、スイッチをONにしたときには、マスター部のINPUT CUEインジケータが点灯すると共に、MASTER CUEの信号が遮断されてAUX IN CUE信号のみとなるように設計されています。


なお、AUX IN ONスイッチのON/OFFに関係なく使用できます。

④ AUX IN ONスイッチ

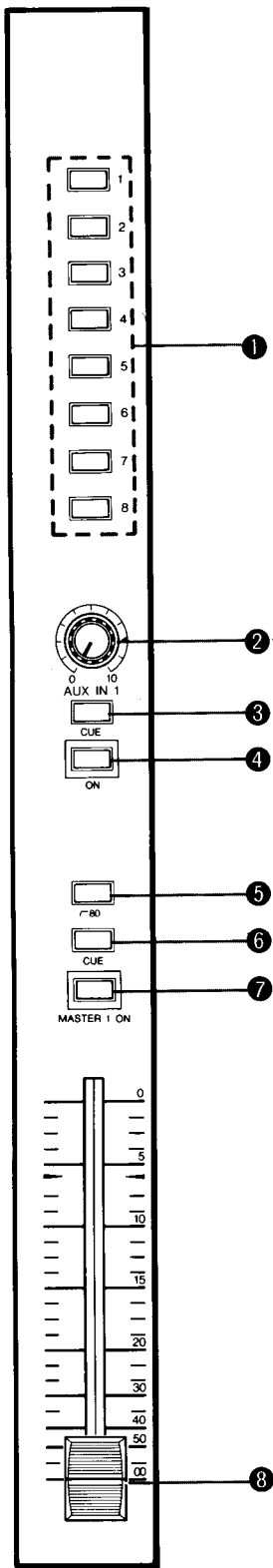
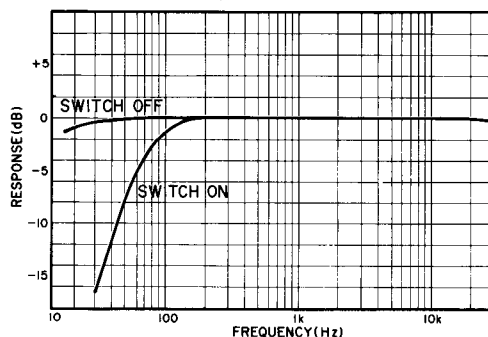
スイッチをON「」にするとAUX INラインがミックスバスに接続され、OFF「」にすると切り離されます。




⑤ 1/80(ローカットフィルター)スイッチ

スイッチをON「」にすると、MASTER OUT信号の80Hz以下の周波数成分が12dB/oct. の特性でカットされます。

このフィルターはランブルやポップノイズの除去、スピーカー保護に効果的です。




⑥ MASTER CUEスイッチ

スイッチをON「」にすることにより、MASTER信号のミキシング状態をヘッドホンまたはオペレーター用のモニタースピーカーで確認できます。


なお、MASTER INSERT IN/OUT端子に何らかの信号を入力した場合はその信号をモニターします。また、MASTER ONスイッチのON/OFFに関係なく使用できます。

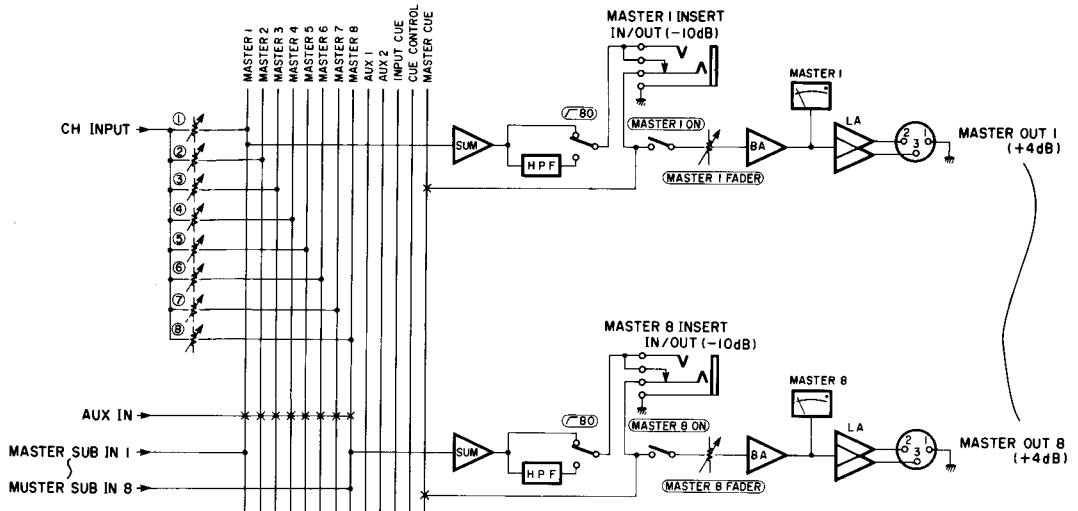
⑦ MASTER ONスイッチ

スイッチをON「」にすると、そのマスターチャンネルが作動状態になります。

スイッチをOFF「」にすると、信号はMASTERフェダーの前で遮断されるため、あらかじめセッティングしたレベルをくずすことなく演奏者へのモニター音を完全にミュートできます。

⑧ MASTERフェダー

CH INPUT、AUX IN、MASTER SUB INの各部から送られ、MASTERミックスバスでミキシングされたモニター信号を全体的にレベル調整し、MASTER OUT端子へ送り出します。フェダー位置「」で規定出力レベルが得られ、VUメーターで出力レベルを監視することができます。



① PHONES

オペレーター用のステレオヘッドホンを接続します。ローインピーダンスタイプをご使用ください。

② CUE/PHONESコントロール

CUE OUT端子へ出力するCUE信号の出力レベルおよび、ヘッドホンの音量レベルをコントロールします。つまみ位置 8 "◀" で規定出力レベルが得られます。

③ INPUT CUEインジケータ

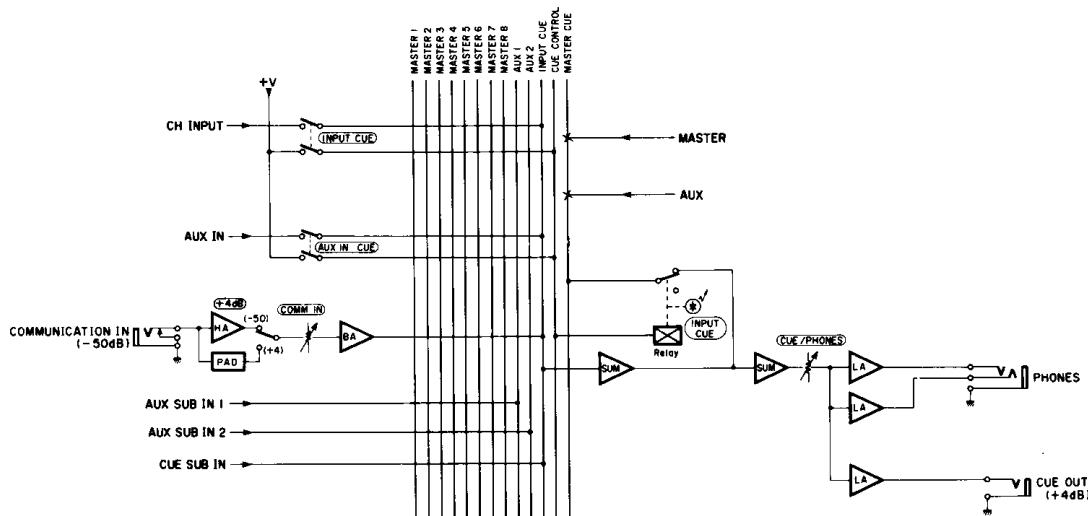
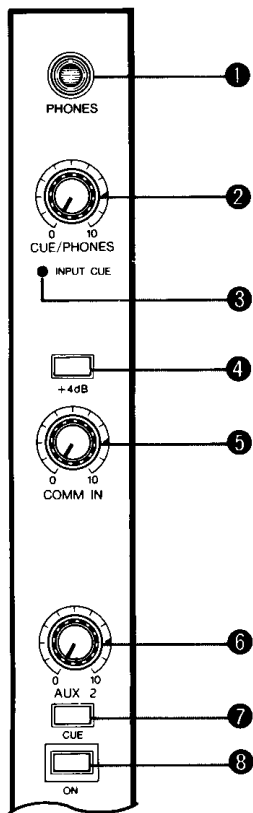
いずれかのチャンネルのINPUT CUEスイッチ、またはAUX IN CUEスイッチがONされると、このインジケータが点灯してCH CUEが優先していることを示します。マスター側のCUEスイッチがONされても、このインジケータは点灯しません。

④ COMM IN +4dBスイッチ

ハウスPAのオペレーターと連絡網を結ぶ場合には、本機リアパネルのCOMM IN端子にハウスPAからのコミュニケーション信号を入力しますが、マイクロホンからの信号をダイレクトに受ける場合は、このスイッチをOFF "■" 状態、ハウスPAの出力端子から信号を受ける場合は、このスイッチをON "■" 状態にします。
スイッチOFF "■" のとき、規定入力レベルは-50dB、スイッチON "■" のとき、規定入力レベルは+4dBです。

⑤ COMM INコントロール


コミュニケーション信号の入力レベルを調整するつまみです。つまみ位置 8 "◀" で規定出力レベルが得られます。



⑥ AUX OUTコントロール


CH INPUT、AUX IN、AUX SUB INの各部から送られ、AUXミックスバスでミキシングされたAUX信号を全体的にレベル調整し、AUX OUT端子へ送り出します。つまみ位置 8 "◀" で規定出力レベルが得られ、VUメーターで出力レベルを監視することができます。


⑦ AUX OUT CUEスイッチ

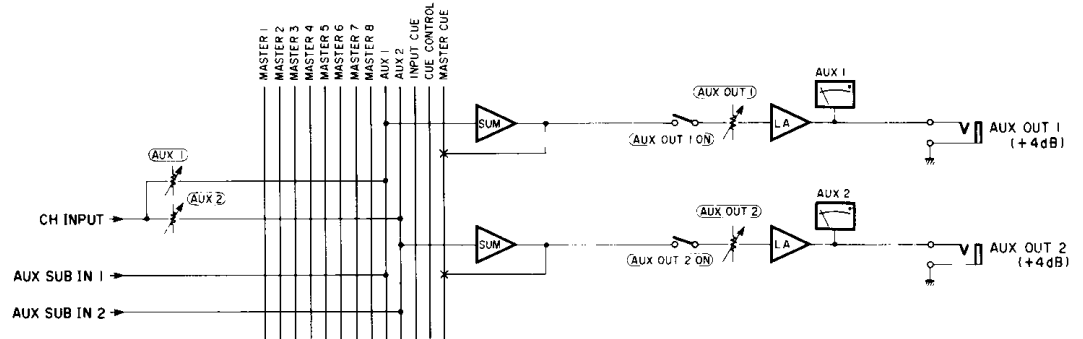
スイッチをON「」にすることにより、AUX信号のミキシング状態をヘッドホン、またはオペレーター用のモニタースピーカーで確認できます。

なお、AUX OUT ONスイッチのON/OFFに関係なく使用できます。

⑧ AUX OUT ONスイッチ

スイッチをON「」にすると、そのAUX OUTチャンネルが作動状態になります。

スイッチをOFF「」にすると、信号はAUX OUTコントロールの前で遮断されるため、出力信号を完全にミュートできます。



TALKBACK IN SECTION

① TB INアサインスイッチ

TB INPUT端子から入力したトークバック信号の送出先を指定するスイッチです。


② TB INPUT・-50dB

トークバック用のローインピーダンスマイクロホンを接続します。


規定入力レベルおよび適合インピーダンスは、-50dB/50~250Ωです。

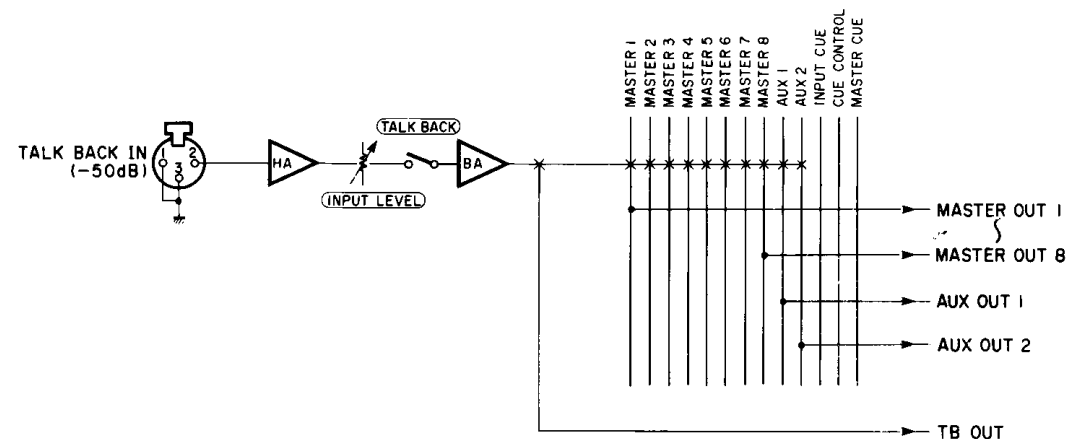
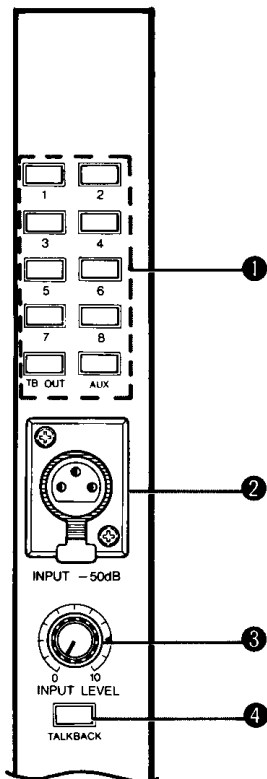
③ TB INPUT LEVELコントロール

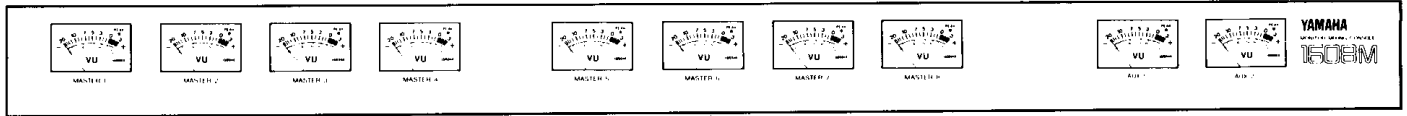
トークバック信号の入力レベルをコントロールするつまみです。

つまみ位置 8「」で規定出力が得られます。

④ TALKBACKスイッチ

スイッチをON「」にすることにより、TB INPUT端子に接続したマイクロホンで通話が可能です。

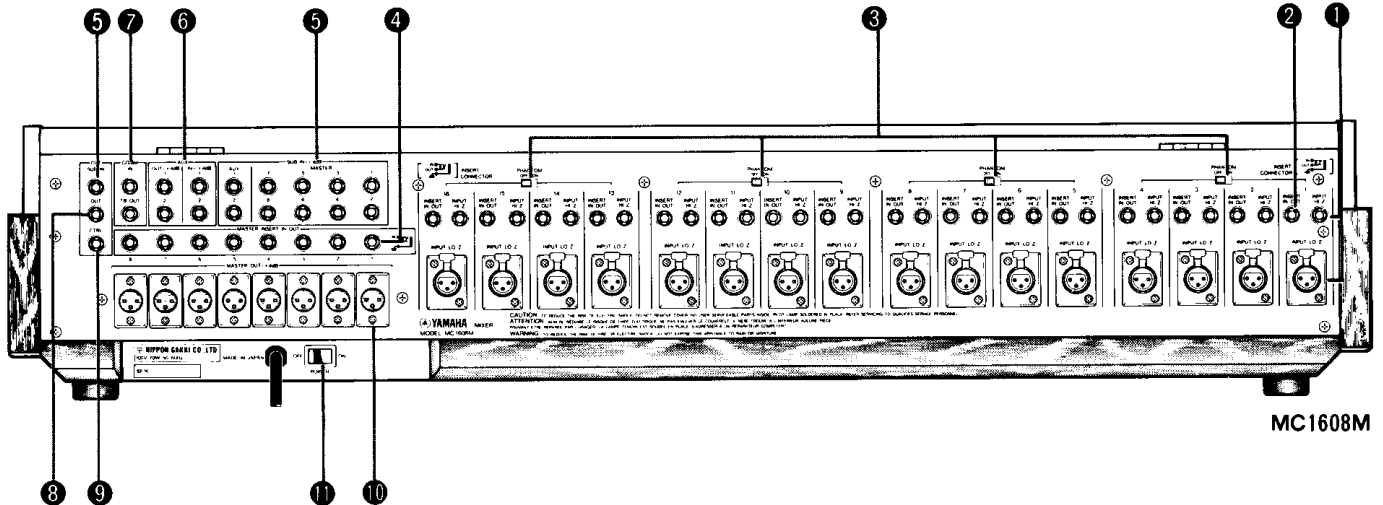




PEAKインジケータ内蔵のVUメーターです。
 MASTER 1～8 および AUX 1、2の各出力レベルを監視でき、VUメーターの指示が0 VUのとき、各出力端子には規定出力レベル(+4 dB)が得られます。
 PEAKインジケータは、0 VUより8 dB上で点灯します。

VUメーター指示	-20VU	-10VU	-5 VU	0 VU	+3 VU
+4 dB出力レベル	-16dB (123mV)	-6 dB (388mV)	-1 dB (691mV)	+4 dB (1.23V)	+7 dB (1.74V)

リアパネル

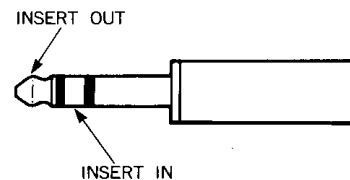


① CH INPUT

演奏者の信号をマルチコネクターボックスなどで、ハウスPAブースへ送る信号とヘッド分岐して、この端子で受けます。定格入力レベルは-60dB～0dBで、50～250Ωのマイクロホンまたは600ΩのLINEに対応します。
 なお、本機内蔵のファントム電源により、外部電源仕様のコンデンサーマイクロホンを使用できます。
 LO Z(ローインピーダンス)、HI Z(ハイインピーダンス)共にバランス型の入力端子です。

② CH INSERT IN/OUT・-10dB

CH INPUT部のヘッドアンプとイコライザーの間に設けられたアンバランス型の入出力端子です。
 規定入力レベル/適合インピーダンスは-10dB/600Ω、規定出力レベル/適合インピーダンスは-10dB/10kΩです。
 ノイズゲートを挿入するなど、あらゆる使用方法が可能な端子です。



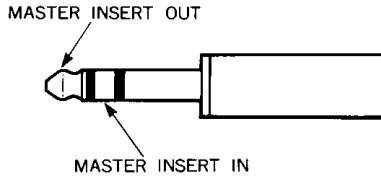
③ PHANTOMスイッチ

ファントム電源を4チャンネルまとめてON/OFFするスイッチです。
 スイッチを“ON”にすると、CH INPUT端子の2・3番ピンにDC48Vを供給します。
 ファントム電源を必要としないときは、必ず“OFF”にしておきます。なお、HI Z端子には、ファントム電源は供給されません。

※スイッチ“ON”の状態ではバランス型ダイナミックマイクロホンやLINEを接続してもさしつかえありませんが、アンバランス回路やトランスのセンターがアースされている回路を接続しますと、ハムや故障の原因となります。

④ MASTER INSERT IN/OUT • -10dB

MASTERミックスバスとMASTERフェーダーの間に設けられたアンバランス型の入出力端子です。
 規定入力レベル/適合インピーダンスは-10dB/600Ω、規定出力レベル/適合インピーダンスは-10dB/10kΩです。
 グラフィックイコライザーやコンプレッサー、ハウリング防止用にディレイマシンを挿入するなど、あらゆる使用方法が可能な端子です。



⑤ SUB IN • +4dB

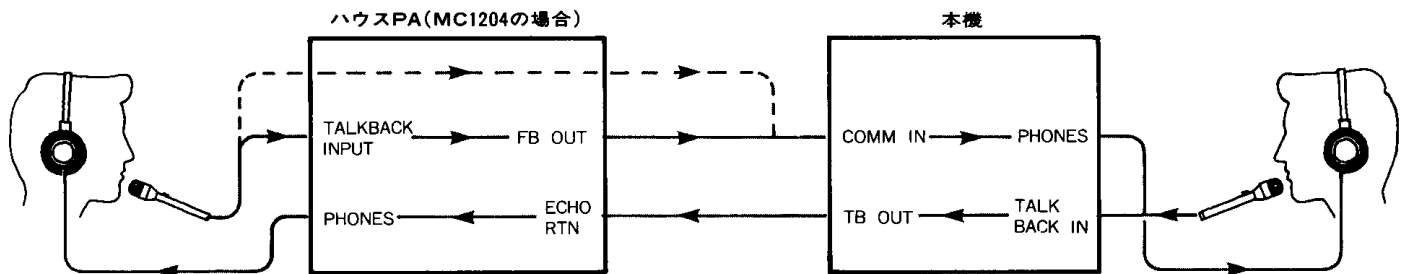
チャンネル増設用端子です。楽器の数が多く、CH INPUTの数が足りない場合などには、サブミキサーとしてもう1台のMC1608MかMC2408Mを使用すると便利です。サブミキサーのMASTER OUT、AUX OUT、CUE OUTからの出力をこれらの端子で受ければ、完全にバスを共通化できます。
 アンバランス型入力端子で、全端子共に規定入力レベルおよび適合インピーダンスは+4dB/600Ωです。

⑥ AUX (IN, OUT) • +4dB

入力チャンネル不足や出力チャンネル不足のとき、エフェクター類を挿入したいときなどに使用するアンバランス型入出力端子です。
 IN、OUT共に規定レベルは+4dB、適合インピーダンスは600Ωです。

⑦ COMM IN、TB OUT

ハウスPAとコミュニケーションをとる場合に便利な、アンバランス型入出力端子です。
 COMM IN端子の規定入力レベルは-50dB/+4dB、50~250Ωのマイクロホン/600ΩのLINEに対応します。
 COMM TB OUT端子の規定出力レベルは+4dB、適合インピーダンスは600Ωです。

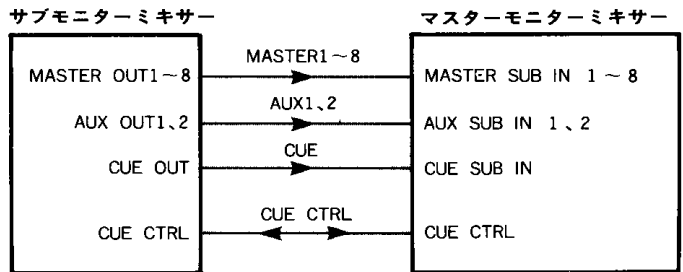


⑧ CUE OUT • +4dB

オペレーター(モニターミキサーマン)用のモニター信号を出力するアンバランス型出力端子です。
 規定出力レベルおよび適合インピーダンスは+4dB/600Ωです。

⑨ CUE CONTROL

チャンネル数を増やすために2台のMC1608MまたはMC2408Mを組み合わせる場合は、両ミキサーのCUE CONTROL端子同士を標準2Pプラグで結線すれば、1台のミキサーと何ら変わらない操作ができるようになります。
 どちらのミキサーのINPUTやAUX INのCUEスイッチを押した場合でも、1台のみの場合と同様に、MASTER側のCUEラインがリレー動作により切り離されます。(12ページのプロックダイアグラムを合わせてご覧ください。)



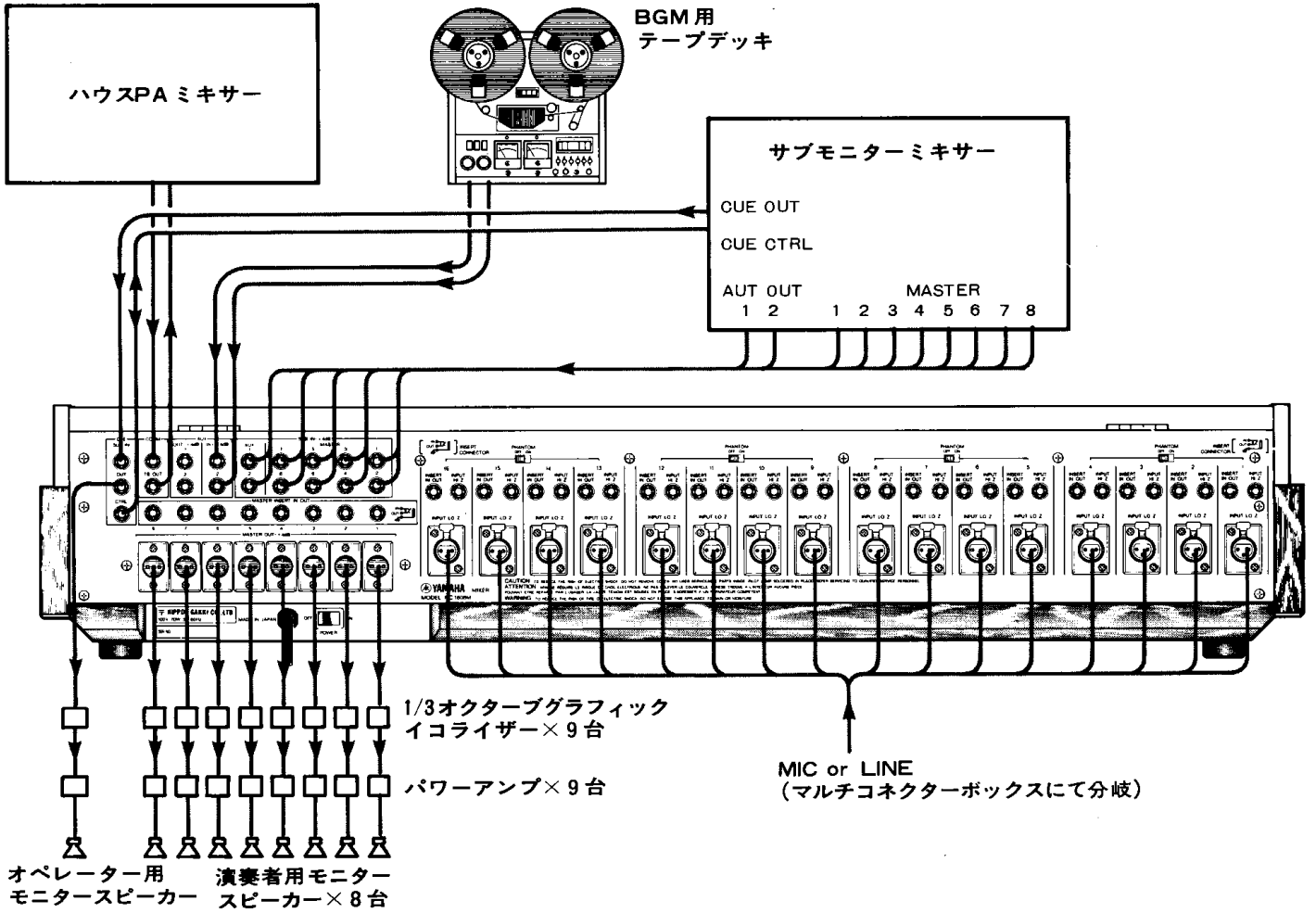
⑩ MASTER OUT • +4dB

各演奏者へのFB信号を出力するバランス型出力端子です。
 規定出力レベルおよび適合インピーダンスは、+4dB/600Ωです。

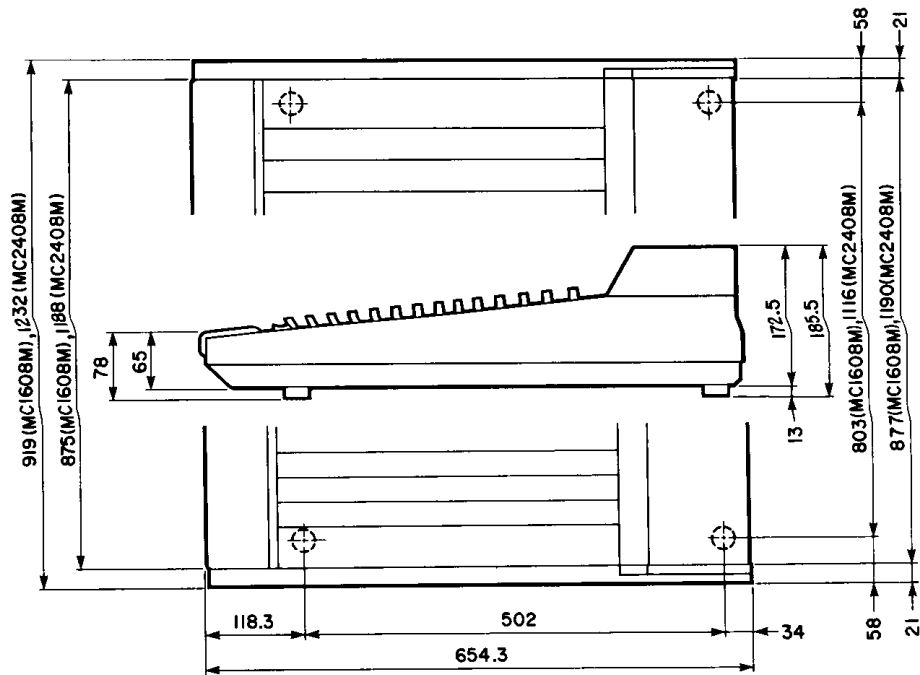
⑪ POWERスイッチ

"ON"にすると電源が入り、VUメーターの照明が点灯します。

接続例

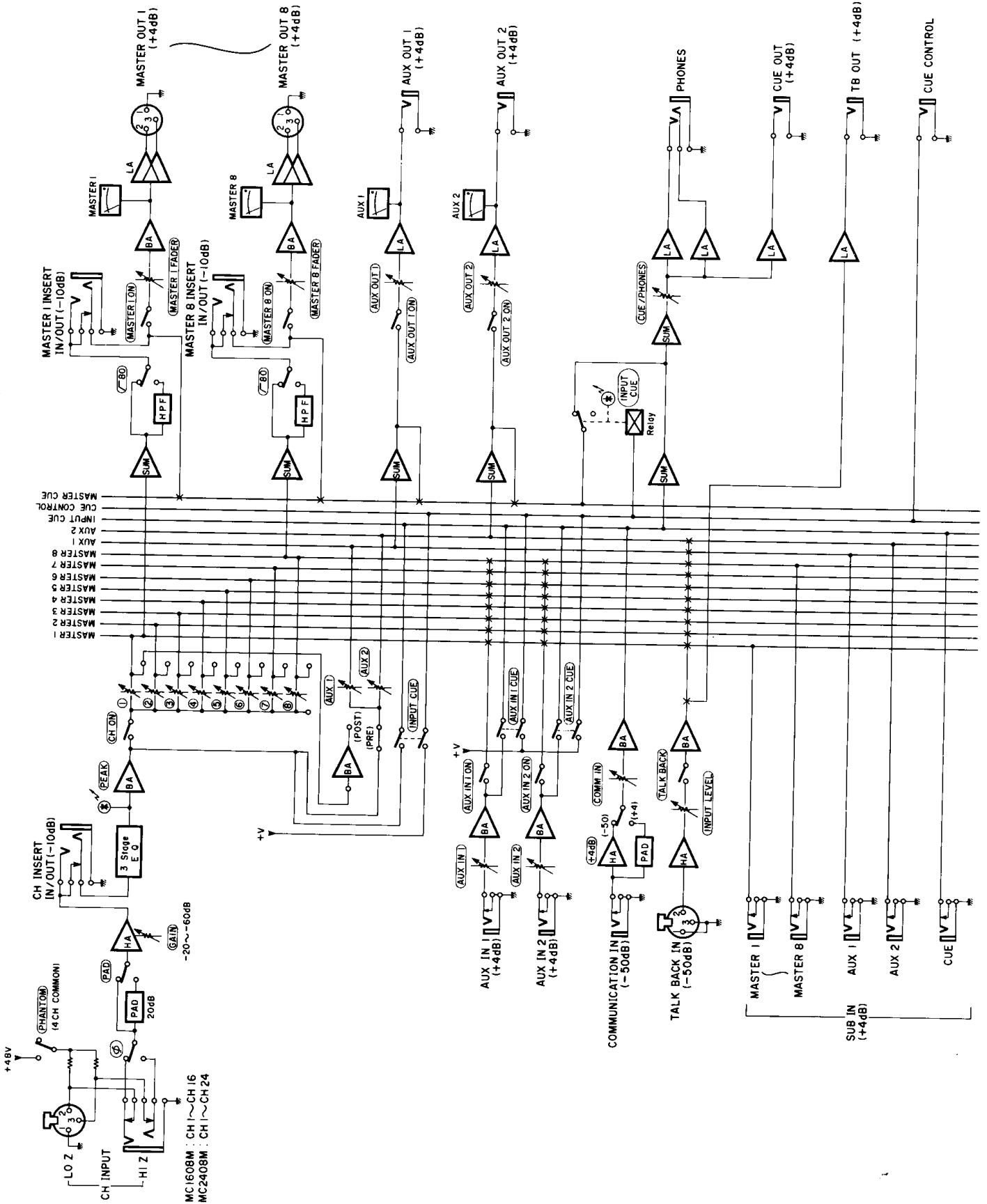


寸法図



単位：mm

ブロックダイアグラム



入・出力仕様

■入力仕様

入力端子	入カ		入カ インピーダンス	ソース インピーダンス	感 度*	入カレベル		使用コネクタ
	PAD	GAIN				規定レベル	最大ノン クリップレベル	
CH INPUT (MC1608M 1~16) (MC2408M 1~24)	OFF (0 dB)	-60dB	LO Z 4k Ω	50~250 Ω Microphones or 600 Ω Lines	-72dB (0.195mV)	-60dB (0.775mV)	-30dB (24.5mV)	XLB 3-31 (Balanced) Phone Jack (TRS) (Balanced)
		-20dB	HI Z 10k Ω	600 Ω Lines	-32dB (19.5mV)	-20dB (77.5mV)	+10dB (2.45V)	
ON (20dB)					-12dB (195mV)	0 dB (775mV)	+20dB (7.75V)	
CH INSERT IN (MC1608M 1~16) (MC2408M 1~24)			10k Ω	600 Ω Lines	-22dB (61.6mV)	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	Phone Jack (TRS) (Unbalanced)
MASTER INSERT IN (1~8)			10k Ω	600 Ω Lines	-16dB (123mV)	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	Phone Jack (TRS) (Unbalanced)
AUX IN (1, 2)			10k Ω	600 Ω Lines	-8 dB (309mV)	+4 dB (1.23V)	+20dB (7.75V)	Phone Jack (Unbalanced)
SUB IN (MASTER 1~8, CUE, AUX 1, 2)			10k Ω	600 Ω Lines	-2 dB (616mV)	+4 dB (1.23V)	+20dB (7.75V)	Phone Jack (Unbalanced)
TALKBACK IN			10k Ω	50~250 Ω Microphones	-62dB (0.616mV)	-50dB (2.45mV)	-10dB (245mV)	XLB 3-31 (Unbalanced)
COMMUNICATION IN			10k Ω	50~250 Ω Microphones	-62dB (0.616mV)	-50dB (2.45mV)	-10dB (245mV)	XLB 3-31 (Unbalanced)

↓ PHONE JACK

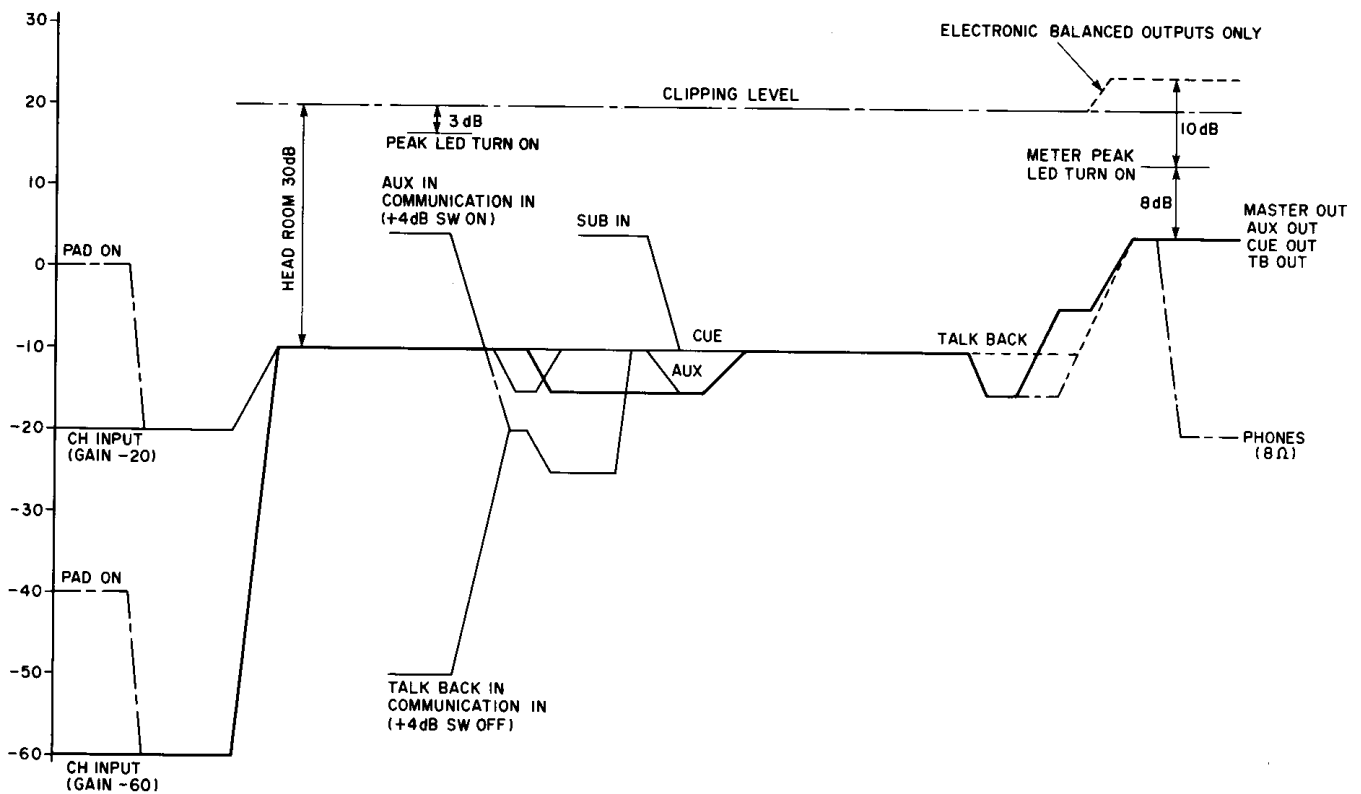
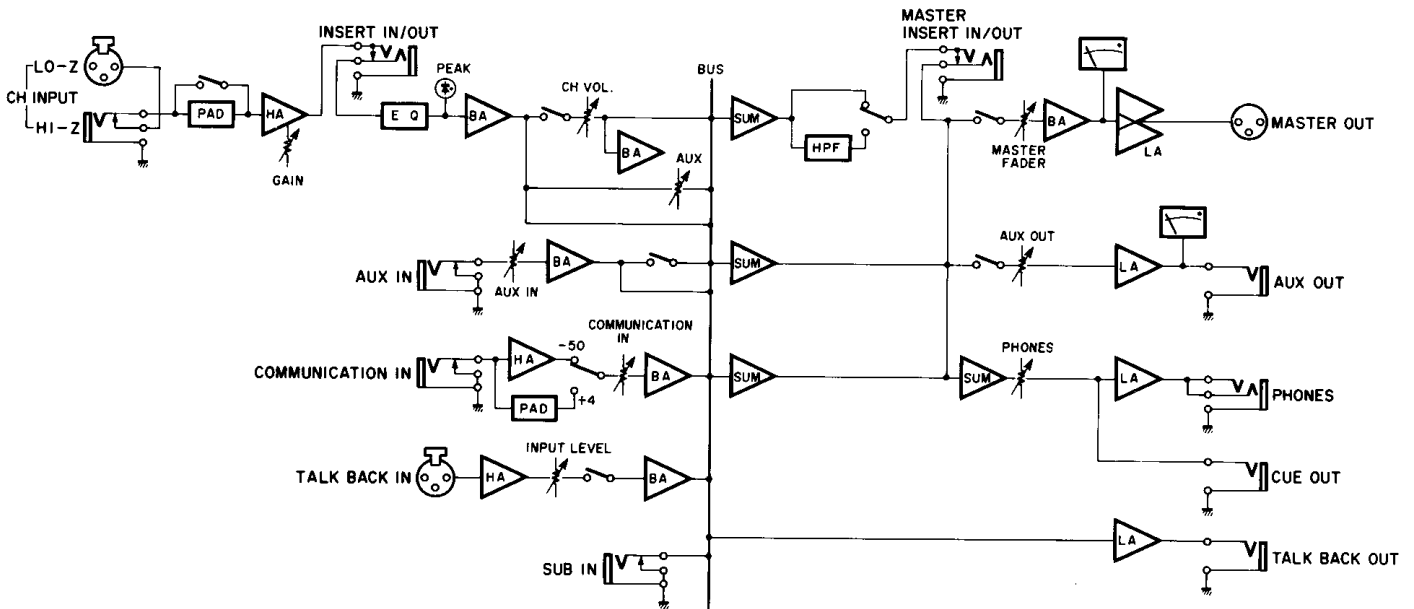
■出力仕様

出力端子	出力 インピーダンス	負 荷 インピーダンス	出力レベル		使用コネクタ
			規定レベル	最大ノン クリップレベル	
MASTER OUT (1~8)	150 Ω	600 Ω Lines	+4 dB (1.23V)	+22dB (9.76V)	XLB 3-32 (Balanced)
AUX OUT (1, 2)	150 Ω	600 Ω Lines	+4 dB (1.23V)	+18dB (6.16V)	Phone Jack (Unbalanced)
TB OUT	150 Ω	600 Ω Lines	+4 dB (1.23V)	+18dB (6.16V)	Phone Jack (Unbalanced)
CUE OUT	150 Ω	600 Ω Lines	+4 dB (1.23V)	+18dB (6.16V)	Phone Jack (Unbalanced)
CH INSERT OUT (MC1608M 1~16) (MC2408M 1~24)	100 Ω	10k Ω Lines	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	Phone Jack (TRS) (Unbalanced)
MASTER INSERT OUT (1~8)	600 Ω	10k Ω Lines	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	Phone Jack (TRS) (Unbalanced)
PHONES OUT	100 Ω	8 Ω Phones	1 mW	20mW	Stereo Phone Jack (Unbalanced)
		40 Ω Phones	3 mW	130mW	

* 規定出力レベル(+4 dB)を得るために必要な入力レベルを示す。

● 0 dB=0.775Vr.m.s.

レベルダイアグラム



サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1か年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1か年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

修理受付および修理品お預り窓口

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバーボールビル2F) TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 (日本楽器高松店内) TEL (0878) 51-7777, 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター) TEL (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目-7(卸商共同配送センター3F) TEL (0222) 36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2205-3 TEL (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒432 浜松市東伊場2-13-12 TEL (0534) 56-9211

本 社

営業技術課電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL (0534) 65-1111

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL. 0534(65)1111
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-11-3/矢島ビル6F TEL. 03(574)8592
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL. 03(572)3131
渋谷店	〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大塚ビル内 TEL. 03(476)5441
池袋店	〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL. 03(981)5271
横浜店	〒220 横浜市西区南幸2-15-13 TEL. 045(311)1201
大阪支店	〒542 大阪府南区南船場3-12-9/ 心齋橋プラザビル東館(8-9館) TEL. 06(251)1111
心齋橋店	〒542 大阪府南区心齋橋筋2-39 TEL. 06(211)8331
梅田店	〒530 大阪府北区梅田1-3-1/大阪駅前第一ビル TEL. 06(345)4731
神戸店	〒651 神戸市中央区元町通2-7-3 TEL. 078(321)1191
高松店	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL. 0878(51)7777-(22)3045
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052(201)5141

名古屋店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052(201)5154
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092(472)2151
福岡店	〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL. 092(721)7621
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL. 011(512)6111
札幌店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地/ヤマハセンター TEL. 011(512)6124
仙台支店	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL. 0222(22)6141
仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL. 0222(27)8516
広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082(248)4511
広島店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082(248)4511
浜松支店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL. 0534(54)4116
浜松店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL. 0534(54)4325